

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
まごころ「しゅくれんじ」		2025年12月3日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		室内のスペースは狭いですが、身体を動かす際にはお庭を利用し、遊びの内容によって使い分けを行っています。	走る程のスペースは無い為、限られた空間にて怪我が無いよう安全確認の徹底を行っています。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	階段がある為車椅子が必要な際には対応が必要です。現在の利用者では車椅子のお子様はいない為今後対策が必要な場合は検討します	バリアフリー化には対応していませんが、今後対応が必要な場合は検討していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の玩具の消毒や清掃を徹底しています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		学習やSSTを行う際には個室にて行っています。周りを気にすることなく集中するスペースの確保が出来ています。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者からの意見に対して改善等の話し合いを行い、改善に繋げています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日の申し送りやケース会議等で常に情報共有を行っています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在第三者による評価は行っていないですが、今後必要に応じて外部評価も検討していきます、業務改善に繋げていきたいです。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎月スタッフの研修の機会を創出しています。	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		HPで公表しています。	スタッフ間、話し合いながらプログラムを作成しています。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		計画の更新のタイミングで面談の機会を必ず提供しています。個々の特性の他、ご家庭や学校の様子等も合わせて計画作成を行っています	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		支援計画の内容については全スタッフが共通認識を持って支援を行っています。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			目標達成までのスモールステップの立て方について児発管を中心に行っていますがスタッフも立てられるように育成をしていきます。

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		児発管の視点以外の意見も取り入れながら総合的に計画を立てています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		新しいプログラムを定期的に取り入れています。	保護者やお子様の希望を踏まえたプログラムも今後実施していきたいです。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日ミーティングを行い、役割分担や支援についての確認を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後の支援記録作成の際に、活動記録（実施内容・行動）を踏まえ様子・状況等を確認して共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		活動内容に盛り込み、組み合わせで個々の特性に合わせた支援を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		毎回児発管が参加をしています。	左記にプラスでスタッフも同行出来ると良いです。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要があれば連携していく体制はできています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			下校の際にお話をしますが、まとまって時間をとって話す機会を持てると尚良いと考えます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○	相談支援事業所がある場合には情報提供をしていただいています。	サポートファイルで回覧に留まってしまっています。機会があれば連携できるようにしていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		研修等には参加をさせて頂いています。	会議等で会合する機会はあるが、定期的に助言を受けるには至っていないので、積極的に連携を取っていきたいです。

携	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		地域の方が参加出来る販売会などを実施していますが、回数が限られてしまい、定着には至っていないのが現状です。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	○		協議会に参加して、他事業所と交流をし、情報共有をしています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時や面談を通して行っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		ペアトレの実施はありませんが、希望があれば実施していきたいです。また、保護者様参加型プログラムの要望もある為、今後実施していきたいです。
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に丁寧に説明を行っています。利用中でも都度ご質問を頂いた際には回答を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		支援計画の更新時期に面談を設定しています。	面談の曜日や時間帯などが合わないご家庭もある為、時間の設定について検討が必要と感じます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		送迎時等でご相談を頂いた場合には、相談支援を提案し面談の機会を提供しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		○		現在実施出来ていない為、希望等も含めて検討しています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		受け付け窓口と解決責任者を明確にお伝えをしています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		HP・ブログ・インスタ・LINEなどSNSを活用し、情報発信を行っています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		書類の管理の徹底を行っています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		伝え方の工夫についてお子様事に変えています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		体験会の実施や販売会の実施を行っています。	年間で開催日時が少ない為、地域住民にもっと知ってもらえるよう努力が必要だと感じます。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			マニュアル整備は行っていますが、保護者目線で分かりづらい部分であり、周知方法などの工夫が必要と感じます。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画(BCP)は策定されており、事業所では避難訓練を年2回、法人全体でBCP訓練は年4回行っています。	訓練を行うごとに振り返り、反省点や課題について修正して、より良いものに改善しています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時にプロフィールシートを作成し、確認を行っています。	

非常時等の対応	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		契約時にプロフィールシートを作成し、確認を行っています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、計画に基づいた研修や訓練を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		緊急連絡先を全家庭から取得しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットが挙げた際には全スタッフが回覧を行う体制を整えています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		法人全体で研修を実施し、全職員が研修を受ける機会を整えています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			